

事務事業名		日常生活用具給付等事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 日常生活支援の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4103	一般	3	1	2	日常生活用具給付等事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業			任意的事業・義務的事業		義務的事業	
	実施方法		直営			事業分類		現金・現物給付事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	障害者総合支援法 佐野市障がい者等日常生活用具給付等事業実施要綱			リーディングプロジェクト 該当なし		
	市長マニフェスト		該当なし								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
日常生活を容易に過ごすための用具を必要とする方からの相談・申請により、審査、決定を行って用具の給付を行う。業者との委託契約を締結して対象者への円滑な給付。			事業概要と同じ。 平成26年度実績		一般生活用具給付	2,289件	児童用生活用具給付		217件	計 2,508件
			難病日常生活用具給付		2件					
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
日常生活用具給付数			件	2,452	2,508	2,600	2,600	2,600		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
各給付種目の給付要件を満たす在宅の身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者または精神障害者保健福祉手帳所持者、難病患者等。			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
日常生活用具給付の対象となる方(申請者)			人	2,452	2,508	2,600	2,600	2,600		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
日常生活用具を給付することで、日常生活上の便宜を図る。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
在宅で生活する用具給付者数/用具申請者数			%	100	100	100	100	100		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自立した日常生活が送れる。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
日常生活用具及び補装具費等受給者数			件	2,687	2,704	2,800	2,850	2,900		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
		国庫支出金	千円	12,304	11,632	13,262	13,262	13,262			
		県支出金	千円	6,152	5,816	6,631	6,631	6,631			
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	6,341	6,961	10,249	10,249	10,249			
		事業費計(A)	千円	24,797	24,409	30,142	30,142	30,142			
		事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
				日常生活用具給付費	24,797	日常生活用具給付費	24,409	日常生活用具給付費	30,142	日常生活用具給付費	30,142
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1			
		のべ業務時間	時間	300	300	300	300	300			
		人件費計(B)	千円	1,167	1,182	1,182	1,182	1,182			
		トータルコスト(A)+(B)	千円	25,964	25,591	31,324	31,324	31,324			

事務事業名	日常生活用具給付等事業	担当部	子ども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	-------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	身体障害者福祉法、児童福祉法に基づき、更生援護を図るため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年10月から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業に組み込まれ、種目や利用者負担について変更。平成25年4月から障害者総合支援法が施行、難病患者も給付の対象、給付品目も追加。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	障がい者団体から、給付品目の種類や耐用年数の見直しを検討するよう要望を頂いた。 例 足利のように紙おむつを支給して欲しい。(現在、他課にて、おむつ券支給。) ストマ等の上限額を上げて欲しい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 日常生活用具を給付または貸与することは、自立と社会参加に繋がる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 日常生活用具を給付、貸与することは福祉の増進に繋がるため妥当。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 日常生活用具を給付または貸与することは、便宜を図れる。
効率的 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 市の要綱に基づき適正かつ効率よく事務を実施、やり方を変えることで成果を向上させることはできない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 各種目について適切な基準額を設け、その範囲内において給付を行っていたため削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
総合 評価	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 原則1割負担であるが、平成22年度から非課税者の自己負担がなくなり、基準額もあるため。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
日常生活用具を給付、貸与することは日常生活又は社会生活を営むために必要・不可欠であり、廃止や休止できない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			